

令和4年度 経営発達支援事業 実施報告・評価シート

I 経営発達支援事業の内容

《評価》 事業評価委員3名による、内容・件数を総合した、事業の5段階評価

事業	実施した内容	実施した件数			評価
		項目	目標	実績	
1. 地域の経済動向調査に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●商工ニュース(奇数月発行)に、「小規模企業景気動向調査」(全国商工会連合会実施)と「兵庫の経済情勢」を掲載し、全国の状況だけでなく、身近な地域の経済・雇用情勢を提供した。 ●「市内経済雇用動向調査」を実施し、インボイス制度への取組み状況や、BCP策定状況などについて調査を行い、ホームページで公表した。 	巡回での収集情報の提供	6回	0回	4
		市内経済雇用動向調査	1回	1回	
		RESASの公表回数	1回	0回	
		各種統計資料の提供	6回	6回	
2. 需要動向調査に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●経営分析を行った建築業事業者がターゲットとする高齢者向けアンケートの作成を支援し、さんだ生涯学習カレッジや三田市シルバー人材センターにアンケート実施を依頼したが、時間や人数の問題で実施出来なかった。 ●漬物の小売を始める事業者に対し、POS情報を提供し、価格設定の参考とした。 	地域内調査対象事業者数	3社	0社	3
		POS情報提供事業者数	3社	1社	
3. 経営状況の分析に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●セミナーを開催し、未来を構想するためにはまず現状を知ることが必要であることをレクチャーした後、「経営デザインシート」を活用して、自社の経営理念、現在の経営資源、顧客等を整理する方法を講義した。 ●セミナー参加者には5期分の決算書を提出してもらい、ローカルベンチマークも活用して、過年度業績の分析を支援した。 	セミナー開催	2回	2回	4
		セミナー参加人数	15名	8名	
		経営分析件数	45件	44件	
4. 事業計画策定支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●セミナーを開催し、現状分析の結果をもとに、これからの事業を考える方法を講義した。 ●希望者には個別相談を実施し、専門家のアドバイスを受けながら事業計画の策定を支援した。 	セミナー開催	2回	2回	4
		セミナー参加人数	15名	8名	
		事業計画策定件数	25件	23件	
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画を策定した事業者のうち9社を重点支援先として選定し、1ヶ月に1回、専門家を交えて進捗状況の確認と、改善方法の検討を行った。 ●必要に応じて、ITの専門家などの派遣を行うとともに、事業者間のマッチングを行った。 ●計画を元に営業活動を行った支援事業者は、売上、経常利益ともに増加した。 	フォローアップ事業者数	25件	23件	4
		フォローアップ回数	100回	176回	
		売上増加事業者数	2件	3件	
		経常利益1%以上増加事業者数	1件	3件	
6. 新たな需要開拓に寄与する事業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣展示会・商談会 対面の商談会だけでなく、オンライン商談会も積極的に周知した。 	出展事業者数	3社	3社	4
		成約件数/社	2社	1社	
	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネット活用 事業計画を策定した事業者を「広報実践講座」や「Googleマップ活用セミナー」に動員し、各社の商品、サービス内容にあった販路開拓を支援した。 	事業者数	3社	5社	
		売上額/社	10万円	5万円	
	<ul style="list-style-type: none"> ●グッドデザイン賞 ブランディングセミナーを開催し、自社の商品・サービスのイメージや価値を作り、浸透させるブランディングの基本を講義し、ブランド構築を目指す事業者を支援した。 	応募事業者数	1社	0社	
		受賞者数	0社	0社	
		新規取引先開拓数	1社	0社	
	<ul style="list-style-type: none"> ●プレスリリース活用 小規模事業者の新商品情報をメディアに配信するため、プレスリリース作成の個別支援を行った。 	プレスリリース数	3社	4社	
新規取引先開拓数/社		1社	1社		

令和4年度 経営発達支援事業 実施報告・評価シート

Ⅱ 地域経済の活性化に資する取組

《評価》 事業評価委員3名による、内容・件数を総合した、事業の5段階評価

事業	実施した内容	実施した件数			評価
		項目	目標	実績	
1. 地域経済の活性化に資する取組に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ●2回の実践創業塾、日本政策金融公庫との「創業計画書作成セミナー」「創業相談ウィーク」の共催など、創業支援連絡会議メンバーの金融機関と連携し、創業予定者等を支援した。 ●起業家等支援施設活性化策として、新サービス(登記貸し、住所貸しなど)について企画運営委員会で検討した。 	創業支援連絡会議への参画	2回	2回	4
		起業家等支援施設企画運営委員会の開催	6回	3回	

Ⅲ 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	実施した内容	実施した件数			評価
		項目	目標	実績	
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ●阪神地区の3市1町(芦屋市・猪名川町・川西市・三田市)の職員で構成される職員協議会の支部研修会を開催し、各地区の情報交換を行った。 	専門家との連携強化	4回	2回	5
		近隣地区商工会・商工会議所との連携強化	3回	4回	
		金融機関との連携強化	6回	1回	
2. 経営指導員等の資質向上等に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ●外部研修と内部講習会・セミナー等の受講(OFF-JT) 外部研修への参加の他、情報セキュリティについての研修を実施した。 ●ペア対応による人材育成(OJT) 2人1組で固定のペアを組み、状況に応じて相談・指導を行った。 ●ヒアリングシート等の各種支援ツールの活用 経営デザインシートとローカルベンチマークの利用に努めた。 ●組織内での情報共有の推進 月1回の職員会議に加え、週1回の課ミーティングを実施し、支援状況の報告と検討を行った。 ●コンサルティング技術の習得の客観的評価 				4
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関する事	<ul style="list-style-type: none"> ●事業評価委員会の設置、意見聴取 11月に委員会を開催し、上半期の事業実施状況について意見を聴取した。 ●理事会等で成果報告 : 令和5年4月20日開催の理事会で報告。 ●総代会で成果報告 : 令和5年5月25日開催の第42回通常総代会で報告。 ●ホームページで成果報告 : 通常総代会後にホームページに掲載。 				5

＜令和4年度事業全体＞ 総合評価:「4」

【目標1】小規模事業者数の維持 <結果>会員小規模事業者数 令和4年3月末 903社 ➡ 令和5年3月末 938社 (35社増加)

(方針1)経営力強化支援により既存事業者を持続的に発展させる。

- ・経営者塾を2回開催し、自社の強みや資源を活かした新規事業の始め方、既存事業の伸ばし方、についてレクチャーした。
- ・希望者には、専門家のアドバイスを受けながら事業計画の策定を支援した。
- ・事業計画を策定した事業者のうち9社を重点支援先として選定し、1ヶ月に1回、専門家を交えて進捗状況の確認と、改善方法の検討を行った。計画を元に営業活動を行った支援事業者は、売上、経常利益ともに増加した。

(方針2)事業承継支援により廃業数を抑制する。

- ・事業承継者、承継予定者を経営者塾に動員し、承継後の事業計画策定を支援した。
- ・承継予定者と大学生が新規事業を考える事業を開催し、承継後の事業継続に資する、新規事業の作り方を学ぶ機会とした。

(方針3)起業家育成支援により創業者数を増やす。

- ・行政、金融機関、土業と連携して創業塾や創業者向けセミナーを開催し、創業希望者や創業間もない人を支援した。
- ・日本政策金融公庫と、「創業相談ウィーク」を共催し、創業者の増加を図った。

【目標2】新規性、独自性を持つ小規模事業者の育成 <結果>プレスリリース 4社配信

(方針1)丁寧な経営状況分析の実施

- ・経営者塾において、事業を継続、発展させるためには、まず現状分析が重要であることと、その手法についてレクチャーした。
- ・個別相談で、5期分の決算書、経営デザインシートをもとに、財務情報及び非財務情報について分析を行い、強みや課題の抽出を支援した。

(方針2)需要動向の積極的な活用

- ・経営分析を行った建築業の事業者がターゲットとする高齢者向けアンケートの作成を支援したが、実施先を見つけれなかった。
- ・新たに小売業に参入する事業者が商品パッケージや価格を検討する際にPOS情報を提供し、活用した。

(方針3)デザイン業者の活用とビジネスマッチングの推進

- ・ブランディングセミナーを開催し、ブランディングの基本を学び、ブランド構築を目指す事業者を支援した。
- ・重点支援先同士や、重点支援先と創業希望者とのマッチングを行い、事業の継続を支援した。

＜令和5年度に向けた改善点＞

(1)ブランディング支援の強化

支援先の経営状況を分析した結果、現在の事業に伸びしろがあるにもかかわらず、当初の理念や、競合との差別化ポイントを見失い、価格競争に巻き込まれるようになっている事業者の多いことが判明したため、今年度はブランディング、リブランディング支援を強化する。

具体的には、事業承継や新規事業に取り組む事業者を発掘し、デザイナーも招聘して、デザインの視点を取り入れたブランドの構築または再構築を支援する。

(2)展示商談会の開催

支援先は消費者向け商品やサービスを提供する事業者が多く、近隣の消費者に知ってもらうことを目標として販路開拓に取り組んでいるが、成果の出ていない事業者も多いことから、商工会が主体となって複数の事業者をPRする場を提供し、注目度や信頼度を上げることで、売上増加を支援する。

(3)創業希望者の育成

事業者の課題を解決するビジネスアイデアを、大学生や若者と事業者がともに考えるイベントを開催し、事業の継続発展を支援するとともに、創業に興味を持つ若者を増やす。